

# ものをみる脳のつくりとしくみを探る

ライフサイエンス

視覚認識の脳内メカニズムの探求

大阪大学大学院 生命機能研究科 藤田 一郎

# A11!



■研究分野 脳科学 認識・意味理解

■キーワード 脳・神経 行動学 情報工学 画像・文章・音声等認識  
心理学

## ■出展概要

ものを見るということはとても容易で、目を開けさえすれば、色彩、形、うごき、模様、立体感に満ちあふれた世界を感じることができます。ところが、そのようなことを実現するためには、脳が非常にこみいったたくさんの「計算」をしなくてははいけません。ものを見るなどという日常的なできごとの背景でそんなことが起きているとはわかには信じがたい—そんな風を感じる方々ひとりひとりに、「おーっ、本当だ。目が世界を見ているのではない。脳が見ているのか。」と納得していただくような不思議な図形や現象を展示します。その上で、このようなものをみるための計算を支えている脳のしくみとつくりについて、最先端の知見を紹介します。「ものを見る（視覚）」を窓口として、脳と心の関係を考えてみます。

## ■メッセージ

本当に不思議なことが、ごく身近に存在しています。身近どころか、私たち自身の体の中に、心の中に。あまりに身近なため、当たり前と思っているところにとんでもない謎がひそんでいます。私たちが世界を見るように、ものを見たり、識別したり、認識したりする機械が、今日もなお、存在しないのはなぜだろうか。そんなことを考えてみたいと思います。

## ■補足情報

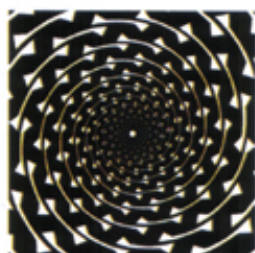
藤田研究室 <http://www2.bpe.es.osaka-u.ac.jp/>  
CREST藤田プロジェクト <http://www2.bpe.es.osaka-u.ac.jp/crest/index.html>

## ものを見る脳のつくりとしくみを探る

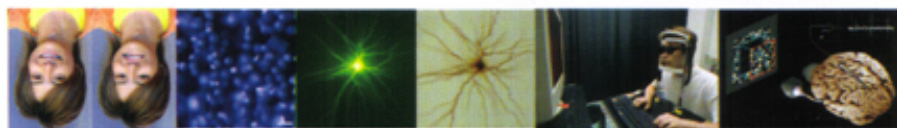
藤田一郎（大阪大学大学院生命機能研究科）

ブース A11

脳が見る



脳を見る



錯視

大脳皮質の機能と構造

物体認識と両眼立体視